

あれこれファレンス



ミニ図書館だより【なんでも質問箱】

No. 199

平成27年3月1日
熊本県立図書館発行

“レファレンスサービス”ってなに？

図書館で所蔵しているたくさんの資料を活用して、皆さんが調査したい内容をより早く正確に調べられるようお手伝いするサービスのことです。

この「あれこれファレンス」では、過去に受けたさまざまなレファレンスの中から、いくつかの興味深い事例をピックアップして紹介します。へえ～こんな質問も図書館で分かるのか！と、楽しめること間違いなしです。

Q. おたずね

少し前に、CMで山崎まさよしさんがタンバリンのような楽器を演奏しているのを見ました。パンデイロというそうですが、タンバリンとどう違うのでしょうか？



A. こたえ

CMで山崎まさよしさんがパンデイロを演奏しているシーンを見た方は、タンバリンには到底出せない速さのリズムと音の響きにびっくりしたことでしょう。

小学校の音楽などでおなじみのタンバリンは、世界の楽器の中でも最も古いもののひとつで、エジプトの第3王朝（紀元前2686年～2613年頃）の壁画にすでにこの楽器が描かれています。世界中に広がっているこの楽器ですが、パンデイロとは、ブラジルのサンバやショーロなどの音楽に使用される楽器で、タンバリンの一種になります。

タンバリンの小さな合わせシンバルの部分（ジングル）は、普通、反り返った皿状のシンバルを背中合わせに取りつけてありますが、パンデイロの場合は、皿状のシンバルの皿の縁同士が合わさるように取りつけてあります。これが普通のタンバリンとの大きな違いで、普通のタンバリンのシンバルがよく響くのにに対して、パンデイロは短く閉じるような音になり、歯切れよく、細かいリズムが明瞭に刻めるようになっています。

たたき方も、左手で平らにもって右手の指や手のひらを使うことで様々な音を出すことができます。また、ヘッドがついているので、親指や手の付け根、他の指先などを使ってリズム・バリエーションを作ることができます。これらを組み合わせて複雑なリズムを刻むことができます。

〈参考文献〉

「新版 打楽器事典」網代景介・岡田知之／共著（音楽之友社）763. 8/ア

「実用音楽用語辞典」（ドレミ楽譜出版社）764. 7/イ

「世界の民族音楽辞典」若林忠宏／著（東京堂出版）760. 3ワ

「民族楽器を楽しもう」若林忠宏／著（ヤマハミュージックメディア）763/ワ

「民族楽器徹底ガイド」若林忠宏／著（ヤマハミュージックメディア）763/ワ

「民族楽器を演奏しよう」若林忠宏／著（明治書院）763/ワ



おといあわせ 熊本県立図書館

〒862-8612 熊本市中央区出水2-5-1

TEL:096-384-5000 FAX:096-385-4214 Email:toshokan@pref.kumamoto.lg.jp

（裏面もあります。）